



# 神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8849 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

## ◆親孝行ならぬ、おじさん孝行◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、私の母は健在ですが、父はもう他界して17年が経ちます。「孝行のしたい時分に親はなし」ということわざがありますが、先日、親孝行ならぬ、おじさん孝行をしてまいりました。

私の父方の兄弟は全員元気なら9人。ただ、戦前の世代で幼少時に3名亡くなられ、大人になっても付き合いが続いたのは女性1名、男性5名の6人兄弟でした。ただ、お姉さんは早くに亡くなられ、残ったのは男5人でした。

名前は全員漢字1文字、長男「順」、次男「勲(いさお)」、三男「豊」(←私の父)、四男「満」、五男「睦(むつみ)」。三男豊、長男順が他界。9月に、五男の睦叔父さんが75歳で永眠。健在なのは、次男の勲伯父さんと四男の満叔父さんです。

そして、満叔父さんは私と住まいが近く、先日都内で行われた睦叔父さんの通夜告別式と10月末の四十九日の法要のとき、車に乗せて一緒に行きました。

その帰りの車で、満叔父さんが私にしみじみと「仁よお」と声を掛けてきました。私が「どうしたの？」と聞くと「おれは千葉の兄貴に会いたいんだ」と答えました。千葉の兄貴というのは、次男の勲伯父さんです。詳しく聞くと、満叔父さんも77歳を過ぎ高齢者の域に達し、千葉まで車で運転して行くのも、電車を乗り継いで行くのも自信がないと、だから、私に連れて行って欲しくないか？ということだったのです。

私も勲伯父さんとは10年くらい顔を合わせておらず、また、脳梗塞を患ってから

どうしているか気になっていましたので、さっそく勲伯父さんの娘で私のいとこのひろ子ちゃんに電話をし、事情を伝えアポイントを取り11月12日(土)に会いに行くことになりました。

勲伯父さんがいるのは、千葉県の安房(あわ)郡 (2枚目へ→)



(続き→) 郡鋸南町(きよなんまち)。木更津と館山のちょうど間です。

当日、こちらからは私と母、それから満叔父さん夫婦の4人で向かいました。ナビでは2時間弱と出たのですが、結局、渋滞やらなんやらで3時間強・・・(汗)。

そして、久しぶりの対面を果たしたのですが、病気を患っていたせいか、寝ている時間が増え、伺ったときも休んでいて、目は覚ましてくれたのですが、我々の顔を見てもピンと来ないのか、お前らだれだ?のような顔をしています。満叔父さんが「満だよ! 満だよ!」と言っても、いまいちな反応・・・。

そこから1時間半くらいお茶を飲みながら、昔話をしていたところ、反応が見えてきました。勲伯父さんがむくっと手を伸ばし、隣に座っていた満叔父さんに握手をするような仕草を見せたのです。そして、満叔父さんの手を触れては離し触れては離しを繰り返し、だんだん顔つきも柔らかく変化。何度も何度も手に触れては何か言いたいような顔をしているのですが、脳梗塞の後遺症か、うまく言葉が出てこない感じで、それでも、気持ちを精一杯伝えようとしていることはわかりました。

あっという間に3時間が過ぎ、帰りの時間。また3時間強かけて帰りました。二人のおじさんを、しばらくぶりに引き合わすことができ良かったです。母親への親孝行もしつつ、これからも、おじさん孝行をしていこうと改めて思いました。

### ◆発行者コラム◆

車で連れて行った満叔父さんから「お礼に米を持って行け」と言われました。せいぜい10キロかと思ったら重たくて一輪車に乗せて持って来られ、「これ何キロ?」と聞くと「一俵」とのこと・・・。あって困るものではありませんので、有り難く頂戴いたしました(笑)。それでは、今年も一年、神奈中情報通信をお読みいただき、どうもありがとうございました。来年も引き続き、何卒、よろしく願い申し上げます。米山

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

### 【発行元】

 株式会社  
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート!

株式会社神奈中情報システム

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町7番35号

TEL: 0463-22-8849 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

